

第134号をお届けいたします。中谷隆志氏のみことな切り絵が表紙を飾っております。モデルとなったのは新島旧邸の寂中庵にある鏡台です。おそらく新島八重が愛用したものではないかと推測されます。八重が、鏡に己が顔を映しながら、日々何を思い、考えていたか興味の尽きないところです。是非、新島旧邸を訪ねられ、鏡台の前で、八重の人生に想いを馳せていただきたいと思います。

今号は、会津若松が重要な舞台

となる大河ドラマ「八重の桜」が2013年1月から放映されることになり、東日本震災復興支援の一環として、八重をテーマとした特集を企画させていただきました。座談会の中での田村・吉田両氏のお言葉を読んで、震災復興がいかに複雑で困難な問題を抱えているか、特に福島の場合は、放射能汚染が復興の大きな障害になっているかを痛感いたしました。NHKが震災復興支援のために制作する「八重の桜」が観光面におい

て、福島復活の一助となり、県民の皆様が郷土への誇りと明日への希望を持つていただくきっかけになることを願うばかりです。ロンドン・オリンピックでは、日本の女性アスリートたちが熱い闘いによって、わたしたちに勇気と元気を与えてくれました。新島八重はまさに激動の時代を生き抜きました。彼女のたくましい生きる力は、きっと、東北そして日本を鼓舞してくれるでしょう。

(秋篠)

訂正
133号に誤りがありました。左記のとおり訂正し、お詫びします。
「口絵」

インタビューの2人
× 本文45頁
○ 本文457頁

「紀行・新島襄と函館」
42頁中段 写真キャプション
× 旧ロシア領事館
○ 遺愛学院のホワイトハウス

●同志社広報委員会小委員会委員

ABC順・○印委員長

- | | | |
|-----------------------|-------|-----|
| ○大学文学部教授 | 秋篠憲一 | 憲一 |
| 大学商学部教授 | 青木藤 | 真美 |
| 幼稚園教諭 | 遠藤井 | 稚絵 |
| 小学校事務長 | 藤平野 | 邦宏 |
| 法人事務部校友同窓課長 | 洪伊藤 | 章生 |
| 大学言語文化教育研究センター准教授 | 鎌田志 | 宗郁 |
| 大学法学部教授 | 貴志北村 | 靖史 |
| 中学校・高等学校事務長 | 小林耕太 | 伸行 |
| 国際中学校・高等学校事務長 | 小林賢章 | 博子 |
| 女子大学総務部広報課長 | 松田圭弘 | 太章 |
| 大学生命医科学部助教 | 溝畑美紀 | 潔 |
| 女子大学表象化学部教授 | 中村伸也 | 和彰 |
| 香里中学校・高等学校事務長 | 中西弘浩 | 彰 |
| 大学理工学部准教授 | 二宮千尋 | 肇 |
| 大学工学部准教授 | 角谷美紀子 | 千尋 |
| 女子大学文学部准教授 | 鈴木あゆみ | 美紀子 |
| 大学企画部広報課長 | 田中茂雄 | あゆみ |
| 女子大学薬学部准教授 | 立木健次 | 茂雄 |
| 大学政策学部教授 | 富田優子 | 健次 |
| 大学企画部広報室長 | 鳥渕優子 | 優子 |
| 大学グローバル・コミュニケーション学部助教 | 津村宏臣 | 秋臣 |
| 大学心理学部准教授 | 植村晃司 | 秋臣 |
| 女子大学現代社会学部准教授 | 山口祐子 | 晃司 |
| 大学文化情報学部准教授 | 米田康博 | 祐子 |
| 女子中学校・高等学校事務長 | 吉岡晃一 | 康博 |
| 国際学院事務長 | 四谷 | 晃一 |
| 女子大学生生活科学部准教授 | | |
| 法人事務部長 | | |
| 大学経済学部准教授 | | |

●編集協力 アルカダッシュ

●同志社時報の申し込み

- ・送料(1冊分200円)のみのご負担でご購読いただけます。
- ・お申込は、綴じ込みハガキをご利用ください。
- ・宛先 〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入同志社大学企画部広報課

同志社時報 第134号
編集人 秋篠憲一
発行人 八田英二
発行 学校法人同志社
同志社大学広報課同志社時報係
電話 (075) 251-3120
印刷所 日本写真印刷株式会社
2012年10月1日発行